

— 荒瀬ダム撤去を実現する県民大集会に寄せて —

「多くの方にご参加を」

実行委員長 木村征男 (旧坂本村村長)

2008年6月4日の定例記者会見で、熊本県知事・蒲島郁夫氏は荒瀬ダム撤去の方針を凍結し、発電事業を継続する方向で再検討するという発表をしました。私は、マスコミを通しての第一報を、すぐには受け止めることが出来ませんでした。

突然の「撤去凍結」発表。何があったのか。理由として県の財政再建が大きく取り上げられています。

しかし、私たち住民・県民は、以下の理由により荒瀬ダム撤去凍結方針に同意できません。

●荒瀬ダム撤去というのは

地域住民・県民と、県が交わした公の約束。更に、日本全国のみならず世界から期待された、公の約束でした。

●「立ち止まって考えるべき」

と判断したと、知事は言われています。撤去凍結以降、知事や企業局には、荒瀬ダム存続への疑問の声が多く届けられ、知事や企業局にも届いているはず。しかし、これまでの知事及び企業局の言動は全て「存続ありき＝事業継続」にだけ向けられています。「立ち止まって考えるべき」は知事と企業局です。

●約束というのは守らなければならない。ウソについてはならない。

人間社会の基本的なルールです。荒瀬ダム撤去は県民と、県との約束事であり、知事のトップダウン的思いつきで、簡単に覆すことは出来ません。

●潮谷前知事が、私たち県民に約束された「荒瀬ダム撤去」。

潮谷前知事が荒瀬ダム撤去を決められてから、県は撤去に向けて作業してきました。その作業に関わってきた県職員・県議会議員の方々も、いきなりの方針転換に、整合性がつかないのではないのでしょうか。

●蒲島知事が就任してから二ヶ月足らずで「撤去凍結」

知事はどんな説明・報告を受けられたのか。正確な情報を得られたのか疑問です。知事の凍結発言後、企業局の説明・発言内容は不正確・不誠実で、県民を愚弄しています。

●撤去する場合と事業継続の費用についても明確な数字すら示せない。

財政上の問題であるなら、知事が言われるように具体的に分かりやすく示すべきです。

●無駄な路木ダム計画には県費を費やす

路木ダムについては、治水・利水の面について、その必要性が無いことが明らかになりました。こんな無駄な事業を止めれば、荒瀬ダム撤去は実現できます。

●荒瀬ダムは「水がめ」ではない！～利水の嘘

荒瀬ダムが無くても、八代の農業用水、宇城・天草の水道水が不足することはありません。しかし、今、熊本県は農家や宇城・天草の水道事業団の利水への不安をあおり住民間に不要な対立を引き起こしています。

●12月に知事が表明される——時間はありません。

9月11日に、蒲島知事は「球磨川は宝」だとおっしゃいました。しかし、その一方で、球磨川・不知火海に大きな悪影響を及ぼしてきた荒瀬ダムは一方的に存続されようとしています。今こそまとまらなければいけません。ご案内のように県民大集会を企画致しました。荒瀬ダムの所在地・坂本で多くの方々にご参加いただき、県民の声を、姿を、大きく、重く、知事に届けたいと願っています。

よろしく願い致します。

荒瀬ダム年表 (抜粋)

■昭和29年

荒瀬ダム (藤本発電所) 発電開始。戦後の電力不足の中で、供給源として大きく貢献。

(当時県内の電力需要の16%を荒瀬ダムで賄った。平成20年現在、荒瀬ダムが県内電力需要に占める割合は0.54%)

～しかし、荒瀬ダムを建設したことで、球磨川・不知火海が環境が一変し、アユやウナギをはじめ、様々な生物が激減。地元坂本村 (当時) には、ダム湖の堆砂による洪水被害や水位変動によって護岸が削られる「洗掘」など、多くの問題が発生。

■平成14年

荒瀬ダムを考える会 (坂本) 発足。水利権更新の平成15年3月にダム撤去を求める。

■平成14年9月

坂本村民からダム撤去の請願が提出され、坂本村議会で県営荒瀬ダム (藤本発電所) の継続に反対する請願を全会一致で採択、国と県にダム継続停止を求める意見書を賛成多数で可決。

■平成14年11月

自民党県議団の荒瀬ダム問題プロジェクトチームが治水機能を持たない発電専用のダムで今後の補修費など費用対効果を考慮すると長期間の継続には無理がある」と判断。

■平成14年12月

県議会で、潮谷義子知事 (当時) が発電事業を九電との電力供給期間 (7年間) 継続し、その後たがちに撤去すると表明。荒瀬ダムの主要設備は今後10年前後で更新時期を迎え、少なくとも60億円以上が必要。長期経営は困難という判断による。

■平成15年～20年

熊本県は荒瀬ダム対策検討委員会を設置。専門家や行政、住民を委員とし、日本初のダム撤去を将来の模範的モデルとするべく、環境対策や工法の丁寧な検討が重ねられた。

■平成20年6月4日

熊本県知事、蒲島郁夫氏が就任一ヶ月半にして突然の「荒瀬ダム撤去凍結」発表

◆荒瀬ダムの撤去を実現する県民大集会◆

— お問い合わせ —

●「荒瀬ダムの撤去を求める会」 本田進 (0965) 45-2328 八代市坂本町坂本 4139-8

●「美しい球磨川を守る市民の会」 出水晃 (0965) 32-2261 八代市萩原町1丁目2-7

二見孝一 kfutami@ybb.ne.jp